

ICTの導入(AIを活用した行政サービス、 モバイルレジ収納・電子納税等)

アナ： 「市長が語る 2019 三島」第6回の今日は、「ICTの導入(AIを活用した行政サービス、モバイルレジ収納・電子納税等)」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 「ICTの導入」ということですが、あまり聞きなれない難しい言葉が出てきましたが、どういう事でしょうか？

市長： ICTとは、Information Communication Technology の略称で日本語では「情報通信技術」となります。国では、人工知能(AI)などのICTをあらゆる産業や社会生活に取り入れることで、経済の発展と様々な社会課題を解決し、人が生き生きと快適に暮らすことのできる「超スマート社会」を実現する「Society5.0」の取り組みを進めています。市でも、これらICTを活用して、さらに生産性の高い行政運営と質の高い市民サービスの提供を目指しています。

アナ： 具体的にはどのようなサービスが導入されるのでしょうか。

市長： 今年は、24時間365日、市民の皆様からのお問合せに対応するインターネットサービスや、キャッシュレス時代に対応するために、モバイルレジ収納や電子納税の導入をします。

アナ： 「24時間365日、市役所への問い合わせに対応するインターネットサービスを導入」とのことですが、それはどのようなサービスですか。

市長： はい、人工知能AIを活用したお問合せ案内サービスとなります。これは、日頃市民の皆様からお問合せいただく、ゴミの出し方や住民票の申請方法、公共施設案内など市役所サービス全般のご質問にAIが対話形式でいつでもお答えするインターネットサービスです。AIは、あいさつなど多少の雑談にも答えてくれます。親しみを持ってたくさんの方が質問していただくと、AIの知識も日々蓄積され、日々賢くなっていきますのでご利用いただきたいと思います。

なお、ご利用方法は、三島市公式ホームページのトップページにサービスの入り口となるバナー(画像)を掲載しておりますので、そちらからご利用ください。

アナ： いつでも問い合わせができるのは助かりますね。次にモバイルレジ収納、電子納税について教えてください。

市長： 平成30年度に導入いたしました「モバイルレジ」は、スマートフォンなどを利用し、インターネットバンキングを介して、ご自宅に居ながら24時間365日、いつでも市税の納付ができるサービスです。

アナ： とても便利なサービスですね。

市長： はい。三島市では、さらに納税しやすくするために、今年の4月から「モバイルレジ」を拡充し、クレジットカードで支払いができる「モバイルレジクレジット」と、「LINE」を使った納税方法を導入する事にいたしました。

アナ： LINEで納税が出来るのは驚きですね。

市長： はい、「LINE Pay」という事前にチャージした電子マネーから支払うことができます。この支払方法は、静岡県内の税金の支払いでは、はじめての取り組みとなります。

アナ： 県内初ということですね。お支払いについてもう少し詳しく教えてください。

市長： どちらもスマートフォンのアプリを使って納付書に記載されているバーコード情報を読み取ることにより支払いを行います。詳しくは納税通知書に同封されているピンク色の「市税の口座振替等の納付のご案内」というチラシをご覧ください。クレジットカードでの支払いについては申し訳ありませんが、手数料が納税者負担で発生しますので、その点だけご了承ください。

アナ： クレジットカードの手数料が必要になるということですね。

市長： はい、その通りです。

ますます納付が便利になった三島市の税金ですが、ひとつ、ラジオをお聞きの市民の皆様にご覧がございませぬ。税金にはそれぞれ納期限がありますので、納期内納付にご協力をお願いします。「モバイルレジクレジット」や「LINE Pay」は大変便利ですが、その都度手続きをする必要がありますので、うっかり納め忘れてしまう心配もございませぬ。その点、従来からあります口座振替は納め忘れの心配がありませんので、口座振替による納税もぜひご活用いただければと思ひます。

アナ： たくさんの選択肢から、自分に合った納税方法を選ぶことができ非常に便利ですね。豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。